

皆さま方には、平素より市政運営にご協力をいただき、  
厚く御礼申し上げます。

それでは、12月の月例記者会見の資料について説明いたします。

#### 【市長】

資料No.1「“頼りになる窓口”実現に向け、庁舎 1 階のレイアウトを変更」についてです。

市では、市民の皆さまと行政の接点として、窓口改革にかねてから取り組んでいます。この取組が評価され、現在は総務省自治体フロントヤード改革モデルプロジェクトに選定されており、市民の皆さまにとって“頼りになる窓口”を実現しようと、集中的に改革を進めています。

フロントヤードとは、オンライン、支所、市庁舎といったあらゆる市民の皆さまと行政の接点を指します。なかでも象徴的な接点は市庁舎の窓口であることを踏まえ、1 月中旬に 1 階フロアのレイアウトを全面的にリニューアルし、来庁くださる皆さまにとって“頼りになる窓口”をつくりあげることを予定しています。

まず、総合案内についてですが、玄関に入って目の前にわかりやすく配置し、目的のゾーンやフロアまでご案内します。

フロア全体は、受付ゾーン、相談ゾーン、くらしゾーンと、来庁される目的によってゾーニングします。

受付ゾーンでは、証明発行や各種手続きなど、来庁者の皆さまの手続に要する時間を短縮していきたい業務を受け持ちます。具体的には、市民課業務、保険、給付業務などです。もちろん業務によってはご案内や相談にも対応します。

相談ゾーンは、来庁された方の悩みや問題が解決するまで、包括的に相談対応する福祉や税務などの業務を受け持ちます。

くらしゾーンは、手続きとは少し異なる、危機管理課、自治振興課、生活環境課が入るゾーンとなります。

詳細は、デジタル部河合部長から説明します。

#### 【デジタル部河合部長】

目的ごとにゾーニングすることで、市民の皆さまが迷わない動線を実現します。総合案内でご用件を伺い、適切にご案内します。

また、バックヤード側では職員動線を確保することで、複数の目的があっても職員が交代型で対応することを目指します。

総合案内は、玄関に入って目の前に分かりやすく配置します。現在市民課で使用しているフロントデスク社の発券機を 1 階フロア全体で使用し、総合案内に設置することで来庁された方の行き先をご案内します。

受付ゾーンは、証明発行や各種手続業務を担当します。各種手続きがこのゾーンで完了します。

レイアウト変更に加え、1 月下旬には窓口業務支援システムである、窓口 D X S a a S・らくまどを稼働させ、書かないワンストップサービスを開始する予定です。手続をワンストップで処理し、皆さまの手続に要する時間を短縮していきたいと考えています。

相談ゾーンは、声漏れや周囲からの視線が気にならないよう、L 字型パネルブースで窓口を仕切り、安心して相談いただける誰にでも優しい窓口を作ります。

待合スペースには、キッズスペースや市民の皆さんが打合せなどできる休憩スペースも配置し、多様な人が気持ちよく滞在できる場を目指しています。

レイアウト変更までのスケジュールをご案内します。

年末年始の休業期間に、一回目のレイアウト変更を実施します。この段階では既存のカウンターや什器を用いて新しいレイアウトに変更します。一週間、新レイアウトを検証いたします。

二回目のレイアウト変更は 1 月 11 日から 13 日までの 3 日間で実施予定です。この期間にカウンターを新しいものに入れ替えます。

したがって、1 階レイアウトの完全リニューアルは、1/14(火曜日)を予定しています。

また、先程申し上げた窓口業務支援システムの稼働は、1/29(水曜日)を予定しています。

レイアウト変更や書かないワンストップ窓口の稼働は、当市のフロントヤード改革モデルプロジェクトの大きな柱です。ぜひ市民の皆さまにご紹介いただきますようよろしくお願いします。

## 【市長】

資料No.2「裾野市観光戦略の策定」についてです。

観光戦略の策定は、市長戦略に掲げる主要事業の1つであり、令和5年度から事業に着手し、令和6年11月に完成いたしました。策定にあたり、裾野市観光戦略策定委員会委員の皆様や観光戦略アドバイザーを始め、貴重なご意見などをお寄せいただきました市民の皆さんに心から感謝を申し上げます。

完成した観光戦略は、市長戦略に掲げる他事業を推進するためにも重要な位置づけとなりますので、今後積極的に活用していきたいと考えております。

詳細は、産業観光スポーツ課 中村主幹から説明します。

## 【産業観光スポーツ課 中村主幹】

令和6年11月に裾野市観光戦略が完成しましたので、産業観光スポーツ課から説明いたします。

策定の目的は、(資料記載のとおりで、)裾野市は抱負な自然環境、アクセスの良さ、既存観光レクリエーション施設の立地などからポテンシャルの高いエリアであり、スポーツツーリズムやロケツーリズムでも大きな成果を上げています。一方で、コロナウイルスの影響により、観光を取り巻く状況は一変し、裾野市の観光交流客数は大きく減少するとともに、観光客の旅行形態やニーズも大きく変化しました。このような環境変化にも対応し、市外・県外からの観光交流客数の拡大と地域の観光産業の活性化に向け、裾野市観光戦略を策定しました。

観光戦略の概要については、A3二つ折りの概要版をご覧ください。

本戦略では、『知る人ぞ知る 日本の理想郷 実はここ「裾野市」なんです。』をキャッチコピーと決めました。

計画期間は、2024年度(令和6年度)から2030年度(令和12年度)としており、目標は、新型コロナウイルス感染症前の2019年度に約220万人だった観光交流客数を2030年度までに300万人に増加させるものです。

目標を達成するために掲げたアクションプランの柱は3つです。1つ目は、4つのエリア戦略で、概要版の見開きの地図にあるとおり、北から①十里木・水ヶ塚周辺②須山浅間神社周辺③パノラマロード周辺④まちなかエリアに分け、それぞれのエリアの特徴をいかした施策や取り組みを展開していきます。

2つ目は、2つのテーマ戦略で、特定のエリアだけでなく市域全体を資源と捉え、既に成果が上がっている①スポーツツーリズム②ロケツーリズムを強化していくものです。

3つ目は、基盤強化で、エリア戦略とテーマ戦略で掲げる取り組みを補完するもので、①環境整備②発信強化③担い手確保を掲げています。

本戦略は、観光分野だけでなく市長戦略に掲げる主要事業との関りも深いため、関係部署との連携を密に、目標達成に向けて取り組んで参ります。

#### 【市長】

資料No.3「訪問健康相談・オンライン診療可能性調査の実施」についてです。

裾野市は、医師少数スポットに指定されており、なおかつ市内の診療所等が偏在し、市南部に集中し、市北部に不足しています。

中でも須山地区は令和5年4月より唯一の医療機関であった須山診療所が閉院し、最も近い医療機関まで6km以上を有し、地域医療に関する不安を抱えている地域です。

地域からの要望としてあげられている医師確保にはなかなか至りませんが、医療不足を補完する仕組みとして、須山地区において、令和7年1月から6月までの間に、訪問健康相談を行い、相談者の状況に応じて「かかりつけ医」を持つことを推奨しつつ、オンラインも含めた診療に繋げてまいります。

希望者の自宅に訪問し、保健師または看護師が健康相談を実施します。本人への聞き取り等により、かかりつけ医を持つことを勧めることや、かかりつけ医への受診勧奨、往診またはオンライン診療相談につなげていくものです。

この事業は須山地区に限定して実施する試行事業となります。現在開催している「裾野市における医療体制のあり方に関する検討会」に事業の報告を行い、検討会での協議を進め、中山間部の地域に対する医療提供方策の可否を今後検討してまいります。

詳細は、健康推進課 栃山主査保健師から説明します。

#### 【健康推進課 栃山主査保健師】

今回の訪問健康相談では、体調に不安があるものの、ふだんなかなか通院ができない方などを対象に、前日までに電話で予約をしていただくと、市の保健師または看護師が自宅を訪問して、生活習慣の聞き取り、血圧測定、体温測定等の健康相談を行います。

医療機関への受診が必要と思われる方で、オンライン診療を希望する方に対し、パソコン、スマートフォンやタブレットの画面を使った医師によるオンライン診療をサポートします。

実施期間は、令和7年1月7日から令和7年6月27日までの祝日を除く毎週火曜日・金曜日となります。

オンライン診療における診療科目は、内科及び小児科です。

オンライン診療は受けずに訪問健康相談のみ受けることもできますので、須山地区の方の積極的な利用をお願いいたします。

この事業は、須山地区において、期間を限定して試行的に実施します。

#### 【市長】

次に、資料No.4「令和7年はたちの会の開催」についてです。

今年度20歳になる方の門出をお祝いするため、市主催による「はたちの会」を令和7年1月12日に開催します。

会場は、裾野市民文化センター多目的ホールで、昨年同様、【東・深良・須山地区】と【西・富岡地区】の2回に分けて開催します。

令和4年の、民法の改正により、明治時代から約140年ぶりに成年の定義が見直され、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられました。裾野市は20歳になる方の節目をお祝いの対象とするため、「成人式」という名称で式典を開催するのではなく公募により選定された、「裾野市はたちの会」として令和5年より開催しております。

当日は、新しい時代を担う543名のはたちの皆さんが、心身ともに健やかにご成長され立派な大人になられた姿をみられることをとても楽しみにしております。当日の取材をよろしくお願いいたします。

#### 【市長】

次に、資料No.5「裾野市駅伝大会の開催」についてです。

新春の風物詩となっております裾野市駅伝大会を1月19日(日)に開催いたします。

裾野市駅伝大会は、歴史ある新成人者祝賀駅伝大会を継承した大会で、今回は68回大会となります。

また、新型コロナウイルス蔓延防止のため募集を中止しておりましたオープン参加も復活します。

コースは、須山小学校をスタートし、須山・富岡・深良・東・西の5地区を通り、市民文化センター

にゴールします。

チーム編成は、4人で走る中学男子の部、一般男子の部と、8人で走る小学生の部、壮年の部、オープン参加などとなっています。

これまで、多くのチームが参加し、市民に親しまれてきた駅伝大会です。当日の取材をよろしくお願いします。

なお、大会当日は、朝9時に須山小学校をスタートし、最終ランナーが市民文化センターにゴールするのは午前11時頃と予想されます。

大会開催中、コース周辺では渋滞が予想されます。また、お車で選手のそばを通過する際には徐行運転などの安全配慮をお願いしております。あわせてご周知をお願いいたします。

#### 【市長】

資料 No.6「アイリスオーヤマ株式会社富士裾野工場での赤ちゃん用紙おむつ生産について」です。

アイリスオーヤマ様が、赤ちゃん用紙おむつ生産事業に新規参入することを先月、都内で発表されました。

この新規事業であります赤ちゃん用紙おむつは、裾野市の須山地区にある「富士裾野工場」で生産されることになります。

アイリスオーヤマ様の新たな投資によって地域経済の活性化や雇用の創出が見込まれることから、裾野市としても大変期待をしておりますし、新たな事業を行う場所として裾野市を選んでいただいたことに感謝申し上げます。

これまで裾野市では、富士裾野工場で生産される「飲料水」や「炭酸水」について、ふるさと納税の返礼品や、災害時における物資供給品として取り扱ってきました。

この度の、赤ちゃん用紙おむつ生産事業の新規参入に伴い、新たに赤ちゃん用紙おむつを追加すべく調整をしています。